

がん医療社会学

授業概要

がん医療社会学においては、地域に多い高齢者や合併症を有する患者のがん治療学として、QOL（生活の質）や副作用対策についての臨床研究、医療費に関するがん医療社会学、地域での終末期医療や緩和医療学に関して学ぶ。がん診療における「対話」の重要性を理解し、地域医療におけるチーム医療の実際を学ぶ。

担当教員

磯部 威（主担当）	教授・呼吸器・臨床腫瘍学
木下 芳一	教授・内科学第二
椎名 浩昭	教授・泌尿器科学
関根 浄治	教授・歯科口腔外科学
齋藤 洋司	教授・麻酔科学
猪俣 泰典	教授・放射線腫瘍学
熊倉 俊一	教授・地域医療教育学

一般目標 general instructional objectives

地域に多いunfit populationと呼ばれる、高齢者や合併症を有するがん患者に対して、診断、病状説明、最適な治療について対話ができる医師を育成することを目標とする。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1 がん患者のQOLについて理解する。
- 2 各臓器別のがん腫について診断、治療戦略を学ぶ。
- 3 高齢者や合併症を有するがん患者への対応を学ぶ。
- 4 がん診療におけるチーム医療について学ぶ。
- 5 がん診療における対話の重要性を理解する。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

使用テキスト・参考文献

適宜、資料を配布する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	がん医療における対話の重要性	礪部 威
2	地域がん医療と地域医療医の育成	熊倉 俊一
3	ICTを用いた緩和ケア研修	齊藤 洋司
4	放射線治療の適応	猪俣 泰典
5	口腔がんと口腔ケア	関根 浄治
6	口腔がんの現状と地域連携	関根 浄治
7	泌尿器がんの現状と地域連携	椎名 浩昭
8	消化器がんの現状と地域連携	木下 芳一
9	QOL評価	礪部 威
10	地域がん医療とチーム医療	礪部 威
11	地域がん医療における看護師の役割	礪部 威
12	地域がん医療における薬剤師の役割	礪部 威
13	ICTを用いた地域がんチーム医療	礪部 威
14	演習（模擬試験）	礪部 威
15	総括	礪部 威